

様式第二号の八（第八条の四の五関係）※1,000 t以上の様式

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 29日

甲府市長

樋口 雄一 殿

提出者

住 所 〒400-0031
山梨県甲府市丸の内2丁目30番2号
氏 名 清水建設株式会社
東京支店 山梨営業所

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 055-222-7117

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	清水建設株式会社 東京支店 山梨営業所
事業場の所在地	山梨県甲府市丸の内2丁目30番2号 甲府第一生命ビル3階
計画期間	令和5年 4月1日 ~ 令和6年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	元請完成工事高 3,690,000,000 円（令和4年度）
③ 従業員数	30人（令和5年 3月末現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物の一連処理工程は 別紙-1による

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 環境マネジメント組織図 別紙2による			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設副産物	
	排出量	1,676.1 t	t
	(これまでに実施した取組) 作業所毎に原単位・リサイクル率の目標を定め、係員・作業員末端まで周知を図り、4R運動及びゼロエミッションの推進と減量化に取り組んだ。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設副産物	
	排出量	620.1 t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、作業所毎に原単位・リサイクル率の目標を定め、係員・作業所末端まで周知を図り、4R運動及びゼロエミッションの推進と減量化に取り組む。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 作業所の状況により分別の細分化を図り、中間処理場施設への持ち込み、原単位の減少化を行った。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 作業所の状況により分別の細分化を図り、中間処理場施設への持ち込み、原単位の減少化を今後も引き続き行う。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設副産物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設副産物	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設副産物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設副産物	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設副産物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設副産物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設副産物	
	全処理委託量	1,676.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,377.2 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
適正処理の中間処理施設及び最終処分施設を選び、排出前に2社契約を行い、マニフェスト伝票管理による、処分完了確認を確実にを行った。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設副産物	
	全処理委託量	620.1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	t
	再生利用業者への処理委託量	300.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<p>優良認定処理業者への委託量を増やし、その他についても適正処理の中間処理施設を選び、排出前に2社契約を行い、マニフェスト伝票管理による、処分完了確認を確実にを行う。</p>			
※事務処理欄			

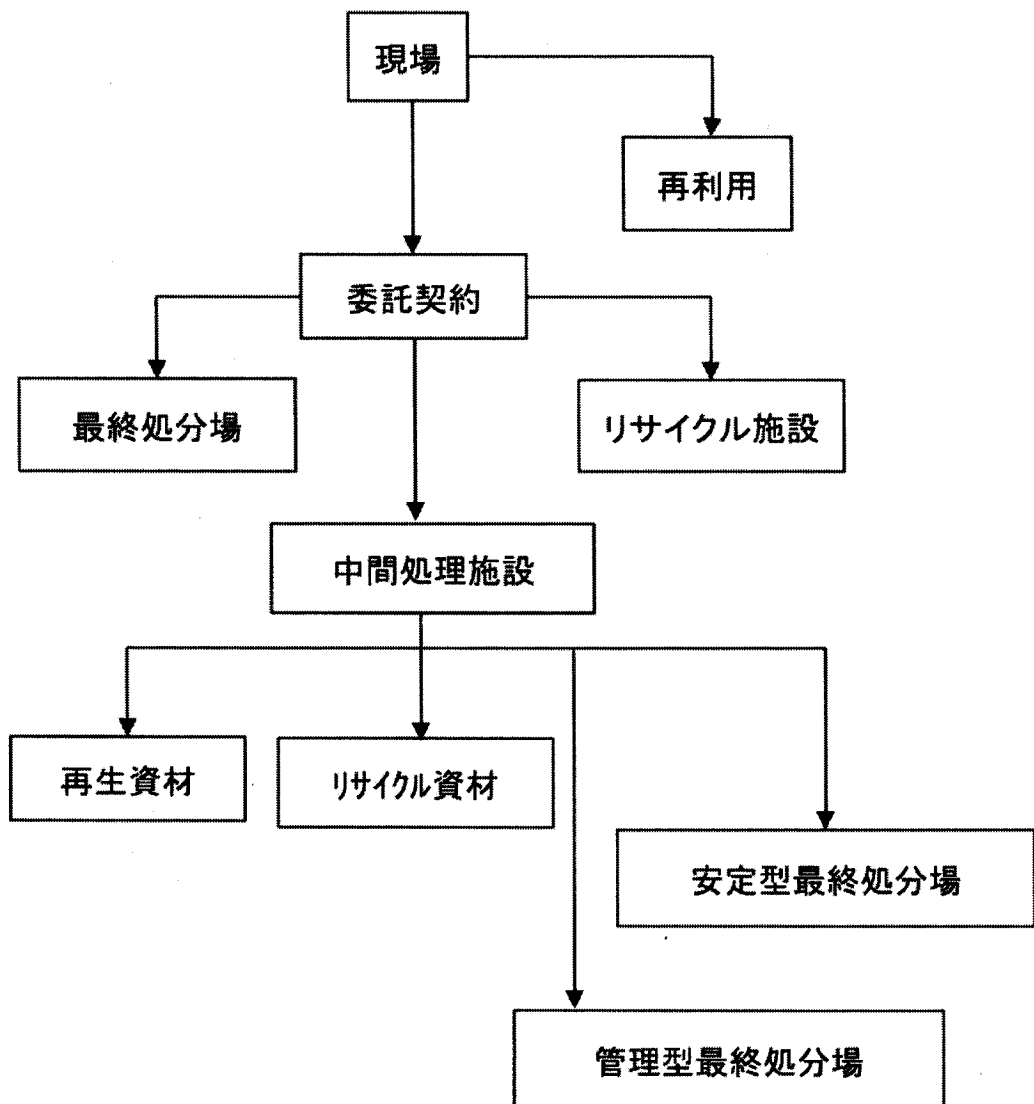
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

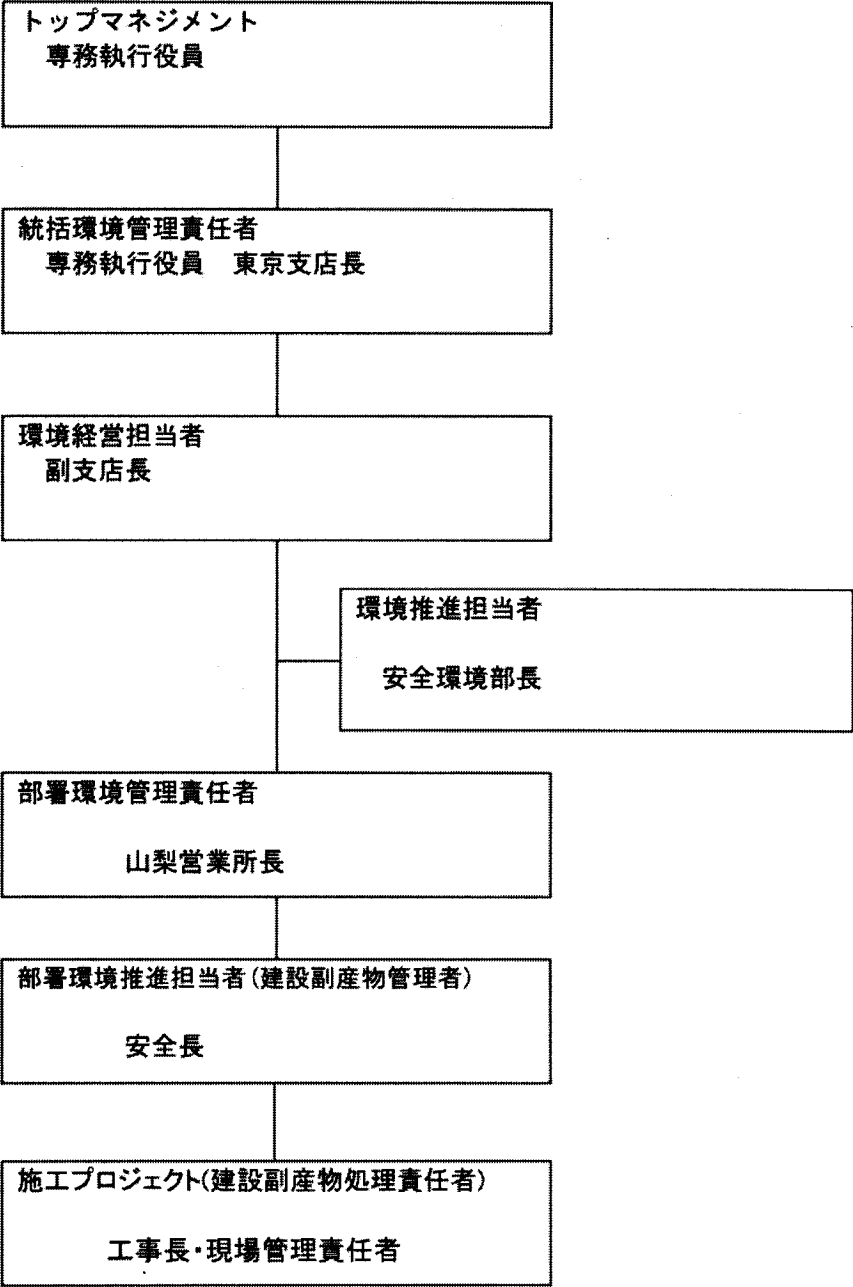
産業廃棄物の一連の処理の工程

令和5年 4月1日



山梨営業所 環境マネジメント組織図

令和5年 4月1日



令和5年度産業廃棄物排出処理計画表【甲府市内分】（清水建設（株）山梨営業所）

単位 t

廃ラフスチリ類	発生量の目標 (甲府市内分)	①産業廃棄物 発生量	②自己直接再 生利用量	③自己直接埋 立処分又は 海洋投入量	④自己中間処 理量	⑤自己中間処 理残さ量	⑥自己中間処 理後再生利 用量	⑦自己中間処 理後直接埋 立処分又は 海洋投入量	⑧委託処分量		
									再生	中間処理	最終処分
塩ビ管	1						0		0	1	
その他	10						0			10	
石綿含有	0						0			0	
小計							0			11	
ゴムくず	0						0			0	
小計							0			0	
金属くず	10						0			10	
鉄骨鉄筋くず	0						0			0	
軽鉄材くず	0						0			0	
小計							0			10	
ガラスくず、 コンクリートくず及び 陶磁器くず	20						0			20	
石膏ボード	0						0			0	
ロックウール	0.5						0			0.5	
ガラスウール	0.5						0			0.5	
麻ALC	30						0			0	
石綿含有	20						0			0	
その他	0						0			0	
小計							0			41	
がれき類	200						200			200	
コンクリートがら	100						100			100	
瓦がら	50						0			50	
その他	0						0			0	
石綿含有	0						0			0	
小計							200			200	
汚泥	50						0			50	
掘削汚泥	50						0			50	
小計							0			80	
木くず	15						0			15	
解体用木材他	15						0			15	
小計							0			15	
紙くず	0.5						0			0.5	
ダンボール	1.5						0			1.5	
その他	0						0			0	
小計							0			2	
繊維くず	0.5						0			0.5	
0.5							0			0.5	
0.5							0			0.5	
小計							0			1.5	
廃油	0.1						0			0.1	
0.1							0			0.1	
小計							0			0.2	
蛍光管	0.1						0.1			0.1	
0.1							0.1			0.1	
小計							0.1			0.1	
建設混合廃棄物	10						0			10	
安定型	100						0			100	
管理型	0						0			0	
小計							0			110	
合計	620.1						300.3			590.1	30

令和4年度産業廃棄物排出処理実績表【甲府市内分】（清水建設（株）山梨営業所）

単位 t

廃りプラスチック類	発生量の目標 (甲府市内分) ※令和4年度 計画書提出無し	①産業廃棄物 発生量	②自己直接再 生利用量	③自己直接埋 立処分又は 海洋投入量	④自己中間処 理量	⑤自己中間処 理残さ量	⑥自己中間処 理後再生利 用量	⑦自己中間処 理後直接埋 立処分又は 海洋投入量	⑧委託処分量		
									再生	中間処理	最終処分
塩ビ管	-	0							0	0	0
その他	-	3.6							0	3.4	0.2
石綿含有	-	0							0	0	0
小計	-	3.6	0	0	0	0	0	0	0	3.4	0.2
ゴムくず	-	0							0	0	0
金属くず	-	4.5							0	4.5	0
鉄骨鉄筋くず	-	0							0	0	0
軽鉄材くず	-	4.5							0	4.5	0
小計	-	4.5	0	0	0	0	0	0	0	4.5	0
ガラスくず、 コンクリートくず及び 陶磁器くず	-	10.2							0	10.2	0
石膏ボード	-	0							0	0	0
ロウケル	-	0							0	0	0
ケラケル	-	0							0	0	0
廃ALC	-	0							0	0	0
石綿含有	-	18.4							0	0	18.4
その他	-	4.3							0	3.7	0.6
小計	-	32.9	0	0	0	0	0	0	0	13.9	19.0
がれき類	-	1318.0							1318.0	1318.0	0
コンクリートから	-	59.2							59.2	59.2	0
7スから	-	29.6							0	29.6	0
その他	-	0							0	0	0
石綿含有	-	0							0	0	0
小計	-	168.8	0	0	0	0	0	0	1377.2	1408.8	0
汚泥	-	176.0							0	176.0	0
掘削汚泥	-	176.0							0	176.0	0
小計	-	176.0	0	0	0	0	0	0	0	176.0	0
木くず	-	0							0	0	0
型枠材他	-	0							0	0	0
解体用木材	-	7.6							0	7.4	0.2
小計	-	7.6	0	0	0	0	0	0	0	7.4	0.2
紙くず	-	0							0	0	0
ダンボール	-	0.1							0	0.1	0
その他	-	0							0	0	0
小計	-	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0
繊維くず	-	0							0	0	0
小計	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油	-	0							0	0	0
小計	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	-	0							0	0	0
小計	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸	-	0							0	0	0
小計	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電線くず	-	0							0	0	0
小計	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蛍光管	-	0							0	0	0
小計	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設混合廃棄物	-	0							0	0	0
安定型 管理型	-	44.6							0	40.6	4.0
小計	-	44.6	0	0	0	0	0	0	0	40.6	4.0
合計	-	1676.1	0	0	0	0	0	0	1377.2	1652.7	23.4